

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 北坂戸第二教室

保護者等数(児童数) 12 回収数 11 割合 92 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1		2	オープン前には見学していない為、実際にどのように子供たちが過ごしているのか見たり知る機会がない。	法令を遵守したスペースを確保している。保護者様が見学をご希望された場合は見学の機会を検討する。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1		3		十分な療育が出来る様、スタッフの確保に努める。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	1	1		視覚的支援を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9			2	清潔で心地よく過ごせる環境ではあると思うが実際に見ていない為分からない。	清潔で安心して過ごせる環境の支援を引き続き行っていく。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	1				個別の課題提供が適切に行われるよう分析し支援計画に取り入れていく。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			1		ガイドラインに示されている支援内容から、個人々に必要な項目を検討し設定していく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1				全職員が支援計画を理解し、支援出来るようにしていく。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10			1	色々なことをしてくれている。	全体会議で職員が意見を持ち寄り、話し合いでプログラムを決め実施していく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	2	4	機会はないが希望もしていない。	コロナ過で機会がなかった。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					引き続き契約時に説明を行っていく。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8	2		1		引き続き契約時に説明を行っていくが、保護者様から説明を求められた際は都度対応していく。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	8	1	1	1		希望があれば、実施に向けて検討していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11					これからもお子様の状況や発達面、情緒面生活面等、伝えていく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	2	1	1	面談や助言等、発達の為にも行ってほしいと思	コロナ過でなかなか教室の足を運んでもらえなかったが、今後ご希望があれば対応していきたい。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	1	1		9月にオープンしたため行っていないが3月に保護者会の実施予定。今後は半年に1度の保護者会を開催していく。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10			1		保護者様から相談の申し入れがあった際は迅速に対応していきたい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			1	お知らせ配信以外のやり取りのあるLINEの際誰とやり取りしているかわからない。	今後LINEでのやり取りの際は記名する。オンラインでの情報伝達は、LINEからHUGに移行している所だが、HUGでも対応者は記名するように徹底していく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11					月1回教室の会報を発行している。年1回自己評価の結果をホームページで公表している。
非常 時 等 の 対 応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	1		1		個人情報の取り扱いには細心の注意をはかり持ち出し禁止にしている。書類は鍵付きの書庫に保管管理している。
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	2		1		契約時に説明を行っている。
満足 度	21	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			3		定期的に避難訓練等を行っている。職員全員が参加できない場合もあるが、今後周知徹底していく。
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	11				とても楽しく通っている様子です。先生方に感謝しています。	引き続き楽しく通所出来るような支援を行っていく。
	23	事業所の支援に満足しているか	9	1		1	本人が楽しく通えているという点では大満足。本人がどのように過ごしているのか、見学する機会もなく、判断材料が少なかつどもとも言えない。	見学の希望があれば都度対応し、安心して頂けるよう努めていく。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 北坂戸第二教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2		整理整頓を心がけ、広く使える様にしている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	2		1日の利用者数に合わせて配置をしている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2		本人に分かりやすく構造化した環境にしている	引き続き視覚的支援を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2		ぶつかると怪我をしそうな場所にはクッション材を貼っている。 騒音対策にクッションシートを敷き詰めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2		朝礼、夕礼にて児童の様子を共有し、目標設定と振り返りをするようにしている。	定期的に事例検討等も行っていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2			今回初めて事業所評価を実施した。保護者様の意見を把握し、業務改善に繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2			自己評価を実施し、R6年3月ホームページに公開。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2		全体会議の後に研修を行う機会を設けている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2			保護者様の意見を取り入れて作成していく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2		発達に合わせたツールを用意している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2		支援目標を確認して支援している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	2		全体会議でスタッフの意見を持ち寄り、話し合いの上決定している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2		色々な経験を積めるように毎月プログラムの内容は変更している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2		児童の状況に合わせて支援計画を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2		朝礼で支援の流れや役割を確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2		夕礼で振り返りを行って共有している。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2		日報に児童の様子を記録している。		
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2		定期的にモニタリングを行い現状把握に努めている。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		管理者や現場スタッフが参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2			医療的ケア児の受け入れは行っていない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2			医療的ケア児の受け入れは行っていない。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2			児童の引き渡し時に情報共有できるようにしたい。	

障者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2			児童の引き渡し時に情報共有できるようにしたい。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2				
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2			コロナ過で行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2				
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2			送迎時に保護者様にその日の様子をお伝えしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		2			第二教室では行っていない。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2			契約時に説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2			保護者様から相談があった場合は対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2			9月開所後3月に実施予定。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2			児童や保護者様のご意見は、出来る限り迅速に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2			毎月通信を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	2			個人のファイルは鍵付き書庫で保管している。通信等に掲載時は同意を確認している。写真は他児が映り込まない様に配慮している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2			コロナ過で行っていない。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2				定期的に訓練を行っていく。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2				定期的に避難訓練を行っていく。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2				研修を行い対応できるようにしている。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2				食物アレルギーはフェイスシートで確認している。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2				夕礼時と全体会議で共有と対策について話しあっている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2				虐待防止委員会を設置し、研修・会議を行っている。早期発見チェックリストを毎月行っている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2				虐待・身体拘束防止委員会を実施し、議事録回覧している。保護者様には契約時に説明している。	